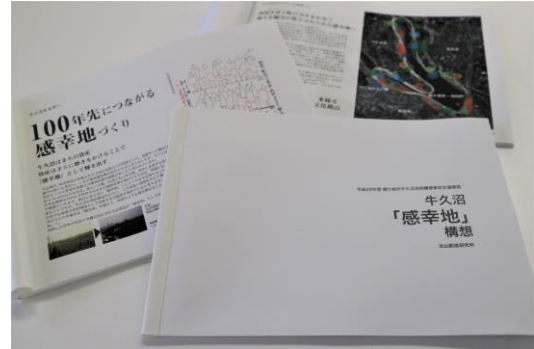


情報提供日：平成30年4月12日

～ 牛久沼はまちの資産。磨きをかけ、100年先も「感幸地」として輝き続けるために ～
牛久沼「感幸地」構想(龍ヶ崎市牛久沼活用構想)を策定しました

龍ヶ崎市では、貴重な地域資源である牛久沼を市民の憩いの場として、また、目的地として多くの来訪者を誘導するため全国各地にてまちづくりのデザインなど、多岐にわたりプロデュースを手掛けている(株)北山創造研究所(北山 孝雄 代表)と平成29年4月に協定を結び、同所の総合プロデュースのもと、牛久沼の活用構想の策定に向け検討を重ねてきました。



▲ 牛久沼「感幸地」構想

この度、牛久沼「感幸地」構想(龍ヶ崎市牛久沼活用構想)を策定しましたのでお知らせいたします。

今後は、この構想を基に、牛久沼を名所化し、賑わいをつくりだすためのより具体的な施策の推進に取り組んでいきます。

牛久沼「感幸地」構想の概要 | 平成30年3月策定

100年先につながる感幸地づくり 牛久沼はまちの資産
資産はさらに磨きをかけることで「感幸地」として輝きだす ～構想冒頭より～

■ **牛久沼の豊かな自然に磨きをかけ「感幸地」へ成長を**

- ・まちの資産である牛久沼の豊かな自然に少しだけ手を加え、さらに磨きをかけ、賑わいをつくり、地域の人々の心と体を豊かにする「感幸地」へと成長することを目指す。

■ **流行り廃りの影響を受けない「感幸地」へ**

- ・牛久沼を名所化するための道筋を3つのカテゴリーに分類。それぞれのサイクルに合わせ、流行り廃りの影響を受けない「感幸地」づくりを目指す。

■ **一周20km、周辺5市1町の力で「感幸地」へ**

- ・牛久沼一周20kmの道が人と自然と賑わいを繋ぐ「牛久沼トレイル」となり、周辺5市1町の力を合わせて様々な魅力が散りばめられた「感幸地」を目指す。

■ **美しいだけでなく、感動・体験を共有してもらえる名所へ**

- ・道の駅を中心とした周辺エリアごとに、人が集まり賑わうための仕掛けを考え、牛久沼が美しいだけでなく、人が共有できる感動、体験を語り継がれるような名所を目指す。

■ 策定日 平成30年3月20日

■ その他 【(株)北山創造研究所について】

- ・平成29年4月13日に「牛久沼を活かしたまちづくりに関する協定」を締結
- ・上記協定を基に平成29年6月から龍ヶ崎市牛久沼活用構想策定支援業務を委託

担当課

龍ヶ崎市 市長公室 道の駅・牛久沼プロジェクト課
 道の駅・牛久沼プロジェクトグループ
 担当者：青木(あおき)・中島(なかじま)
 連絡先：0297-64-2751(直通)